



シリーズ豊前市 SDGs とは？

“誰一人取り残さない持続可能な社会”を実現する世界共通目標である SDGs。全部で 17 個ある SDGs の目標を、地域の視点を取り入れ、そして一人一人ができる取組事例を取り入れて、毎月 1 つずつご紹介していく 2022 年 1 月から開始した連載です。地域の未来のために、私たちと私たちの大切な人が持続可能であるために。豊前で始める最初の第一歩。毎月 SDGs を一緒に学びながら、**自分にできることを一緒に始めていきましょう。**

目標 6「安全な水とトイレを世界中に」

すべての人が安全な水と衛生的な環境を使えるようにする。限りある水資源を将来にわたって使うための取組を進める。

日本で生活を送る上で、この目標を自分事として感じる機会は少ないのではないのでしょうか。皆さんは地球上のすべての水のうち人が利用できる水は 0.01%しかないとご存じですか？このわずかに 0.01%の水で世界 70 億の人が生きています。水は地球上のすべての生き物の源であり、水なしに人間も動物も植物も生きることが出来ません。私たちの体も 70%は水で出来ています。しかし世界では 22 億人、10 人に 3 人が、きれいな水を手に入れることができず、不衛生な水やトイレを使い、健康や尊厳が失われています。そして、キレイな水がないことで年間 180 万人の子どもの命を落としています。私たちが生きていくためになくてはならない水ですが、地球温暖化や人口の増加、経済の発展などの影響で、これからますます水が不足することが予想されています。私たち日本人が多くの水を使うことにより、途上国の生活を破壊することになってしまいます。安全な水をこれからも使い続けていくために私たち一人一人が、水の使い方を見直したり考えたりすることが重要です。

6 CLEAN WATER AND SANITATION



豊前市の取組 | 川や海へ流れる汚れの量を減らす「合併浄化槽」の推奨

私たちが口にしている食料を生産するためにも多くの水が使われています。例えば 1kg のトウモロコシを生産するには 1,800 リットルの水が必要です。日本の食料自給率は 40%と大半を輸入で賄っています。結果として日本の水資源は節約できますが、その輸入量が多いと輸出国の水資源の圧迫に繋がります。そして、水不足により生産に必要な水が確保できないと、輸出できる食料は減ってしまいます。このように、海外での水不足や水質汚濁の問題は、決して日本と無関係ではないのです。

豊前市では、「全世界繋がっている海の汚れを減らし、安全な水資源を将来にわたって使う」ための取組にも繋がると、汲み取り式トイレや単独処理浄化槽を使用している方の「合併処理浄化槽」への転換を推奨しています。「合併処理浄化槽」を設置することは、川や海の汚れを減らして、海の水質汚濁の問題を解決することにも繋がります。市報 3 月号 28 ページでも、「合併処理浄化槽」の記事を掲載していますのでご覧ください。なお、「合併処理浄化槽」の設置には、補助金が交付される場合もありますので、詳しくは担当までお問合せください。



お問合せは 豊前市上下水道課 業務係 ☎82-8025

SDGs の主人公はわたしたち 身近なところにある SDGs 一人一人ができる取組事例



目標 6「安全な水とトイレを世界中に」は、「すべての人が安全な水と衛生的な環境を使えるようにする」「限りある水資源を将来にわたって使うための取組を進めること」が目標です。今回ご紹介する取組以外にも、個人でできる取組はたくさんあります。

まずは新聞や公共施設など周囲に目を向け、身近に自分ができる取組が紹介されていないか、そしてヒントが隠れていないか探し、できることから始めましょう。

<わたしたちにもできること>

- ① 私たちがふだん当たり前に使っている水や、水の循環について調べてみる
- ② 世界の水事情や他の国の状況、水の大切さについて考えてみる
- ③ お風呂や洗たく、トイレなど、どれだけ水を使っているか調べる、節水を意識すること
- ④ 台所から油を流さないなど、水を汚さないようにすること

株式会社ニコン日総プライム 水谷洋司(英国 CMI 認定サステナビリティ(CSR)プラクティショナー)